

校内別室の取組と校内における不登校支援について

不登校生徒の状況

対象生徒は、小学校から不登校が続き、中学校は入学時から 1 日も登校できていない。三者面談も学校では行うことができず、担任が定期的に家庭訪問をすることでのみ、当該生徒と話をすることができるという状況が続いた。

具体的な取組

○学年別少人数授業

学年別少人数授業を行い、自由進度学習、小集団授業、タブレット学習等学習の方法を生徒が選択し、習熟度に応じた、個別最適化された学びを実施した。



○様々な体験活動の充実

夏季休業中や教科横断的な学習の時間を活用し、校外学習やうどん作りなどの体験活動を実施した。



○S S Wの活用

S S Wを活用し、朝の登校の前に家庭訪問をし、一緒に登校をしてもらえるように働きかけた。

また、S S W活用の手引きを作成し、校内に周知した。



○全校行事へのチャレンジクラスとしての参加

運動会や合唱コンクール等の全校行事に別室利用の生徒の実態に応じて、運動会は学級旗作成、合唱コンクールは吊り看板作成などで参加した。



成果

小学校 5 年生から中学校 2 年生 1 学期まではほとんど登校することができなかったが、夏休みの体験活動などを通して、2 学期には週 1、2 日程度の登校ができるようになった。

課題

校内別室の生徒と他の生徒との交流を図っていくことが必要である。